|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 2021第1,2,3 RUTC答え24(28)(社)世界福音化伝道協会　www.wedarak.net | | | | |
| 2022年7月9日～ 7月10日週間祈りカード | | | | |
| △産業宣教/世界公務員宣教大会  １講：バベル塔のわざわいを止める産業(創11:1-8) | | △レムナント伝道学/世界公務員宣教大会  ２講：来世のことを今日に(ルカ16:19-31) | | △核心、散らされた弟子たち/世界公務員宣教大会  ３講：公務員に必ず必要な再創造の答え(Ⅱコリ5:17) |
| 光と経済－公務員が最初に持たなければならないこと  光の経済-福音を正しく知って、経済を知ること  バベルの塔のわざわいを止める産業と公務が必ず必要  □序論  暗やみ経済(奴隷経済)  1.強大国－弱小国を捕まえた。　2.弱小国－借りたり奴隷として行く。  3.福音を持っている公務員―このときごとに神様がそこに入れられた。  バベルの塔経済－力があるように見えるが崩れる経済、無条件にすればできるということ  1.偶像政治(神殿)－悪魔が作ったのを分からない。お金になるが少しすれば崩れる。  2.散らされた福音公務員-このときごとに、神様が入れられたのだ。  △滅亡直前にあるエジプトに福音を持っている公務員ヨセフを入れられたのだ。契約だけあれば良い。神様はヨセフに事件を起こして力を与えられたのだ。  わざわい経済－バベルの塔が崩れるので、わざわい経済に変わる。  1.戦争　2. 病気時代  3.残りの者公務員-このときごとに神様が用いられた  □本論  1.バベルの塔-今でも続いている。  1)創11:1-8創11章から始まり→大きなわざわい  2) 3団体－第2バベルの塔運動進行、憑依運動  3) 4-5次産業革命－第3のバベルの塔運動  光－プラットフォーム-光を持った者1人なら、暗やみがどれほど大きくても関係ない。私が光を持っているプラットフォームだ。  2.どのように準備  1)創12:1-3カルデヤのウルを生かすために、その精神(本論1)から出た  2)創13:18 (見張り場) -見張り台を築き始め  3)創14:14-20財産を与えられた神様、十分の一をささげたアブラハム  創22:1-21イサクに伝える、創26:10-24泉の根源、レホボテの祝福  見張り台-みなさん1人のゆえに見張り場が見張り台となる。  3.未来バベルの塔－公務員はこのような側から祈り始めなければならない  1)いやし産業　2)いのち産業　3) RUTC産業－次世代を生かすRUTC産業  アンテナ－みなさん1人が契約だけ持っているが、これがアンテナだ。  □結論  1.7強大国－公務員にわざわいを止める祝福を備えられた神様  2.生涯の産業-この祈りを続ければ、生涯の産業が出てくる。福音運動と教会とつなげてしなさい。  3.未来公務員－ひとりよく育てても大きいのだ。  △公務員は1人でも正しく答えを受けてしまうと、本人の力とは関係なく神様が変えてしまわれる。 | | 奥義-神の国のこと(使1:3) -公務員は全く未信者が知らない永遠なこと、神の国のこと、奥義の力とルカ16:19-31来世のことを分からなければならない。  □序論   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 私を御座化 | レムナントの意味 | レムナントの使命 | | 隠された者、  散らされた者  備えられた者 | 根、切り株、  新しい芽 | 残りの者(契約)、残る者(力)  残れる者(文化)、残す者(次世代) |   1.私を御座化-公務員は公務現場では全く表に現れずに私を御座化するのだ。隠された者、散らされた者のように見えるが備えられた者だ。  2.RTの意味- RTが木ならば、根はキリスト、神様、いのち、みな切ってなくなったのに残っている切り株が私たちだ。ここから出てくる新しい芽が森を成し遂げる。  3.RTの使命-残りの者(契約を確かに持っている)、残る者(御座の力を味わう)、残れる者(国家、社会、あらゆる分野の暗やみ文化を変える)、残す者(このような次世代に会うようになる)  □本論  1.人生-永遠  1)ルカ16:19-31金持ちは生きている間、良く食べて楽に暮らせば良いとして死んだが、終わりでない。  2)ヨハ14:1-27イエス様が心配するなと言われた。  3)黙20:1-6イエス様の復活はすべての人間の復活の初穂だ。  △黙想運動-御座の祝福を味わう黙想運動を始めなさい。  2.公務員社会(地獄背景)  1)ルカ16:19-31ほとんどの人は良い暮らしをしようとする。  2)サタン12 -サタンは12の戦略にみなかけてしまった。  3)わざわい-じっとしていても個人に、家にわざわいが来る。  △いやし－1人が御座化されていれば、いやしが起こる。  3.天国背景事実化  1)復活- 「イエス様が復活して病んだ者、悪霊につかれた者に手を置けばいやされます」「天と地の権威をわたしが持っている、あなたに与える」なので彼らを生かしなさい。  2)サタン(悪霊) -全部偶像、占い、迷信にみな陥っている。どれほど答えを与えやすいだろうか。  3)使17:1、18:4、19:8この人がみな子どもの悩みがある。いくらでも助けることができる。  □結論\_ひとり-神の国というこの奥義一つだけ持っている人の証拠だ。  1.モーセ、ヨシュア、カレブ-モーセ1人のゆえに神の国のことが成り立った  2.ダビデ-ダビデがこの祝福を味わっていたら、昇進だけでなく、すべてができた。  3.オバデヤ-王が禁止したことをしたというのは、死ぬことなのに、オバデヤはここにいた。  4.ダニエル－同僚-仕事を良くするほどではなくて、超越した。王に知恵を与えて王の先生になった。  5.ガイオ、コルネリオ、ナルキソの家族-公務員出身ガイオ、福音の前にひざまずいたコルネリオ、王宮の奥義文書担当特報であったナルキソの家族がこの力を持ったのだ。 | | 1講　光の経済－神様が光を与えられたがその光を放っていれば暗やみ経済が崩れる  2講　神の国－職場の中で目に見えないように人を生かす力  3講　再創造－「新しく造られた者」すべての信徒に与えられた答え  △再創造の答えを見つけるようになれば牧師、教会とともに行くようになる。レムナントがこの祝福を味わえなければ、無条件に未信者がすることにあわせて行かなければならない。点検しなければならない。  □序論  再創造の理由－Exit -抜け出すべき  1.創3:4-5、16-20　自分だけしか分からない悪魔の誘惑、苦しみ  2.創6:4-5、ネフィリム-わざわいが来るネフィリムの力  3.創11:1-8　バベルの塔－崩れるバベルの塔  再創造の条件-私のことにすべき  1.創1:27三位一体の神様と御座の力が私のかたち、私のたましいの中に臨むこと  2.創2:7神様の力、いのちの息が私の中に、私のたましい、心、考えの中に臨むこと  3.創2:17-18エデンに用意された完ぺきな祝福が私の周囲に臨在すべき  △受け入れると考えて祈りなさい。私の家庭には現わすと考えて祈りなさい。  再創造の力が出てくる。  1.マタ16:16-20岩、教会、ハデスの権威X、天国の鍵  2.ガラ2:20滅びるしかないサタンの根が打ち込まれたみなさんは十字架で終わり、いまはキリストがあなたの中に居られるのだ。  3.Ⅱコリ5:17霊的DNAが変わってしまったこと  40日－この時間を持ちなさい。  □本論\_そのときから出てくる三つのこと  1.異なる点　ヨハ8:44　ヨハ14:16霊が異なる。みなさんはこの(ヨハ14:16)導きを受ける。  2.現場奥義　人　24　神の国　神の国の奥義を持って私とともにいる人の24をどれだけ味わうかが、すべての答えだ。  △ポティファルとヨセフ、ポティファルの妻とヨセフ、ここに神の国24。これが公務員だ。  3.使命　仕事　25　未来  公務員は必ず仕事があって、どんなことでも未来がある。ここで25という神の国と再創造が合わさった答えが出てくるのだ。  △そのことと自分と相手に必ず再創造の奥義がある。  □結論\_散らされた弟子「70人の答え－公務員」  1.隠された弟子(公務員) -神様は公務員を隠された弟子として用いられた。  2.公務員－答え  1)光－神様が与えられたやみを照らす光　　2)御座-神の国  3)聖霊の力で来る再創造の答え  3.弟子化運動(伝道運動) -公務員個人生かす弟子化運動が残っている。みな終わった後にできる伝道運動を捜し出した方が良い。これが再創造だ。 |
| 2021第1,2,3 RUTC答え24(28)(社)世界福音化伝道協会　www.wedarak.net | | | | |
| 2022年7月9日～ 7月10日週間祈りカード | | | | |
| △区域メッセージ  三つの祭りの奥義と私の24(出23:14-19) | △聖日1部礼拝  ベツサイダ運動する教会(マコ8:22-26) | | △聖日2部礼拝  いのち救う者と失う者(マコ8:31-38) | |
| △三つの祭り(私の24)－行事(親)、成人式(タラント)、会堂(専門性)、ロッジ(現場) -三つの祭りが私のことにならなければならない。土曜日に家族と教会に来て、安らかに教会見物もして、祈って、みことばフォーラムすることが、レムナントの一生を左右する。ユダヤ人は実際に三つの祭りを守って、13歳になれば、タラントを発見する成人式、専門性を備えることができる会堂準備、社会に入れば最高に作ることができるロッジがある。これはすべて教会に行く前に親とともにする。  □序論  ところが、ユダヤ人の中で大部分は成功はしたが、のがしたことがある。  1.福音-熱心にして福音をのがしてしまった。  2.三つの祭り-三つの祭りの意味をのがして成功はしたが、わざわいが臨んだ。  □本論  1.過越祭の祝福  1)サタンの12戦略－私たちと私たちの次世代をサタンの12の戦略から完全に解放させる日だ。  2)キリスト-このすべての問題をキリストがみな解決した。  3)味わい-この祝福を知って味わうことが過越祭の祝福だ。  2.五旬節の祝福  1)Iコリ3:16　私たちの中にすでに聖霊が来ておられる。  2)ヨハ14:26、16:13すると聖霊の導きを受けるようになる。  3)使1:8これが私に満たすように力で臨むことが五旬節だ。  △それゆえ、ユダヤ人は祭りを正しく守って答えを受けたが、私たちは24だ。  3.仮庵祭の祝福  1)天国国籍-神様が私たちに天国の国籍を与えられた。すでに権利を私たちは受けたのだ。  2)権威-地の果てまで行って、この福音を伝える権威も与えられたのだ。これが天国の背景だ。  3)神の国-御座の力が私たちが行って祈る所に神の国として臨む。  4)ヨハ14:1-4この地で私たちは永遠に生きることなく、私たちのたましいは天の御座に移るのだ。私たちが神の国に移された後に、次世代に答えが起こる(詩90篇)  □結論  それゆえ、この祝福を持って237か国次世代生かすのに私たちがしていないことは何か  1.信徒-毎日教会に集まって三つの祭りの祝福を味わうフォーラムと祈りと答があるべき。  2.新しい家族-新しい家族につまらないたわ言一言いえば、それが刻印される。私たちが新しい家族に、恵みを受けて答えを話せば、それが刻印される。  3.RT -親が祈れば、必ず次世代に、他の人に答えが起こるようになっている。  △私たちの祈りは絶対に無駄にならない。 | □序論\_誰も助ける者がいない死ぬ病気と不治の病(盲人)  1.このとき、神様が私とともにおられる、その力を持って行く者と、あきらめる者は違う  2.病気になった者と問題、不可能な苦しみの中にいる者は、重要な答えを見つけるべき  1)重要な瞬間に世の中のことは答えにならない。  2)ヨセフとダビデ－誰も助ける者がいないということを分かったことが重要だ。  3)誰も助ける者がいないことが落胆する理由だが、一番良い時刻表だ。生涯で最高の価値を発見する時間  3.私の中に間違ったこと、サタンが与えたこと、誤解、傷、経験、世の中こと、私のこと、欲でいっぱいになっていることを神様のことに変える時刻表を作ってこそ、いやされる－このとき、無能がいやされ、伝道できるようになる人として変化  □本論  1.キリストに会って霊的DNAが完全に変わった盲人  1) 22節「主がさわってくださることを願います」切実に来て求めた盲人－すべてのゴミをみな捨てたこと  2) 24節、25節イエスが盲人の手を握って村の外に出て行って目につばきをつけ、また、按手－神様の力が刻印されるとき、ひっくり返るようになるみわざ  3)イエスに行けばいやされるという確信を持っていた盲人－これがCVDIP、答えの絵。不信仰のゴミを捨てて、契約で絵を描いて祈らなければならない。  4) 26節　村に行かずにすぐに家に帰りなさい－御座の力が完全に臨むように人の話は聞いてはならない  △神様が私のからだ、考えの中のすべてのゴミを変えて神様の力で働かれる体験をすれば、変わるようになる。  2.この現場を見てイスラエル現場を生かし始めた弟子(ペテロ)―足のなえた人(使3:1-12)  1)使3:1定刻祈りに行くときに足のなえた人を見たペテロ  2)使3:4ペテロとヨハネがともに、見つめて－集中  3)使3:6ナザレのイエス・キリストの御名によって起きて歩きなさい。－このみことばが足のなえた人のたましいとからだと心の中に伝えられたが、人々が知らない働き  △違うことの代わりに神様の力が私の中に入ってくるならば働き  3.このキリストの働きが重職者に伝わる(ピリポ)－サマリヤ  1)サマリヤに中風の病と悪霊につかれた人々  2)ピリポが一心に話して、一心に聞いたサマリヤの人々(一か所集中)－ここで働きが起こった。  3)福音と祈りを知って世の中に出て行ってこそ、世の中を征服  □結論\_神様が必要とする教会はベツサイダ運動をする教会  △237の人と霊的に病んでいる人々、レムナントを神様のこと、御座のことによって変えなければならない。 | | 今日の本文はイエス様が弟子に直接与えられたメッセージだ。  強大国、ヨーロッパ、アメリカ－福音伝えないで度々違うものして、サタンが攻撃した  精神病者－ぎっしり埋まるようになったのだ。  △ペテロの信仰告白(マタ16:16)後、イエス様が十字架に処刑されることと三日目に復活することをおっしゃった。ペテロが絶対にだめだと言って、「下がれ。サタン！あなたは神のことを思わないで、人のことを思っている。だれでもわたしについて来たいと思うなら、自分を捨て、自分の十字架を負い、そしてわたしについて来なさい。いのちを救おうと思う者はそれを失い、わたしと福音とのためにいのちを失う者はそれを救うのです。」と言われた。みことばの前に立って歴史を見なさい。事実は、福音を知らずに止めることだ。主のしもべは「ただ福音」だけ語るべきだ。そうでなければ、みなさんの次世代は精神病者になる。  □序論\_十字架処刑事件以降「二種類の人」  集中時代を開くべき  1.教役者－御座、時空超越、237(本当に祈りが分かれば成り立つ)  2.重職者－70地域、70か国　　3.レムナント－237か国を生かすタラント  □本論\_与えられる答えと受ける答え  1.使徒  1)上からの権威－マタ28:16-20、マコ16:15-20  2)この権威を力として(1、3、8) -これだけ話しなさい。  2.重職者  1) 70弟子(影響) - 70地域を生かす影響力を与えるように答え  2)使11:19大きな患難のとき、最高の祝福を重職者に  使12:1-25最大危機のとき、教会を生かした重職者の祈り  3)使13:1-4行く所ごとに重職者を先に立てて働き人を派遣  △約束されたことだから「アーメン」と言えば、答えを受ける。  3.レムナント  1)使17:1-3 「当為性」 -キリスト、十字架、復活の当為性  2)使18:4 「礼拝、祈り」－これを知って世の中に出て行くべき  3)使19:8 「国」 -本当に答えが何か知って行くべき  △成功しても世の国、福音を悟れなければサタンの国にお手伝いをするしかない。  □結論\_ (36-37節)―現場時代を開きなさい。  △「人は、たとい全世界を得ても、いのちを損じたら、何の得がありましょう」  1.霊的祝祭(1週一度) -それでこそ、偶像、神殿、Temple Stay生かす。  2.霊的DNAを変えるいやし(毎日来て恵みを受けるように)－病人に毎日訪ねて行ってメッセージを与える異端、代替宗教  3.すべての家で霊的タラッパンをしなさい－学校まで入り込んでいる瞑想運動  △教会の責任だ。私たちの祈りをここに注ぎ込まなければならない。これがまことの未来だ。 | |